

治明地区津波避難タワー (治明みらいタワー)



施設概要

収容可能 人数	300人	避難フロア までの高さ	3.9m	工事費	3億円
避難対象 者	◇津波避難の際には、北へ逃げることを原則としておりますが、 <u>要配慮者(75歳以上の高齢者、障害をお持ちの方、要介護3以上の方、小さなお子さんをお連れの方、妊婦など)や逃げ遅れてしまい遠くまで逃げるできない方などが対象となります。</u>				
特記 事項	◇円滑な避難を可能とするため、階段の幅を広くした上で、一段一段の高さを小学校と同程度としています。また、階段下には、自力で階段を登ることができない方を搬送するため、担架を備えています。 ◇大地震発生時は、地震解錠ボックスが解錠(震度5弱以上)することにより、鍵が取り出せるため、施設内に入ることができます。 ◇避難フロアには、災害発生から2日間を過ごすために必要な物資を保管する備蓄倉庫を設けています。				
愛称等 について	◇本施設の愛称は、一色西部小学校1年の倉内結愛さん、3年生の神崎友汰さん、5年生の神崎公汰さんによるものです。(応募総数165件の中から決定) ◇本施設に掲出している看板は、一色中学校2年の鈴木璃音さんがデザインしたものです。(応募総数221件の中から決定)				



津波避難タワーの愛称と看板デザイン

治明地区 「治明みらいタワー」



愛称

一色小学校 1 年生	くらうち ゆ あ 倉内結愛さん
3 年生	かんざき ゆ う た 神崎友汰さん
5 年生	かんざき こう た 神崎公汰さん

愛称に込めた思い

子供の輝く未来とおじいちゃんおばあちゃんの未来、その他の方々の未来を津波災害から守りたいという思いから。みんなの明るい未来に役立つように。

看板デザイン

一色中学校 2 年生	すずき り お ん 鈴木璃音さん
------------	------------------------------------

工 事 概 要

工 事 名	：	津波避難タワー建設工事【治明地区津波避難タワー（仮称）】
工 事 場 所	：	西尾市一色町治明九平山 4 2 番地
発 注 者	：	西尾市危機管理局危機管理課
設 計	：	株式会社榊原設計
工 事 監 理	：	株式会社加藤建築事務所
施 工	：	株式会社盛南組
建 物 概 要	：	鉄骨構造 3 階建て 延床面積 5 0 7 . 9 2 m ²